〔損益計算書関係〕

ファイナンス・リース取引について、当該取引に係る収益化額と、当該取引により計上された固定資産の減価償却費及びリース債務に係る支払利息額との間に差が生じており、当該差額が当事業年度の損益に影響を与えております。当該ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は△86,998円であり、当該影響額を除いた当期総利益は11,769,990,928円であります。

〔キャッシュ・フロー計算書関係〕

キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の期末残高の貸借対照表科目別内訳

現金及び預金勘定	78,607,593,727円
定期預金	－33,350,000,000円
資金期末残高	45,257,593,727円

〔金融商品関係〕

⑴　金融商品の状況に関する事項

当センターは、独立行政法人通則法第47条に基づき、預金及び有価証券による短期運用並びに投資有価証券による長期運用を行っております。資金調達については、銀行借入による短期借入及び長期借入を行っております。

また、必要に応じてリースを利用することとしております。

⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。また、現金は注記を省略しており、預金、有価証券（譲渡性預金）、未収金、未払金、短期借入金及び預り金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊）	時価（＊）	差額	備考
長期借入金	(42,000,000,000)	(41,572,107,882)	427,892,118	㈱

（＊）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

㈱借入金の貸借対照表日後における返済予定額

（単位：円）

区　分	１年以内	１年超５年以内	５年超10年以内	10年超
長期借入金	9,000,000,000	27,500,000,000	5,500,000,000	—
計	9,000,000,000	27,500,000,000	5,500,000,000	—

㈱時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しております。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

長期借入金

長期借入金の時価は、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

〔退職給付関係〕

１　採用している退職給付制度の概要

当センターは、役職員の退職給付に充てるため、積立型、非積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。企業年金基金制度（積立型制度である。）では、給与と勤務期間に基づいた一時金又は年金を支給しております。

退職一時金制度（非積立制度である。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

２　確定給付制度

⑴　退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表　（単位：円）

期首における退職給付債務	6,428,511,589
勤務費用	320,541,813
利息費用	44,099,072
数理計算上の差異の当期発生額	－215,766,795
退職給付の支払額	－383,885,549
過去勤務費用の当期発生額	—
期末における退職給付債務	6,193,500,130

⑵　年金資産の期首残高と期末残高の調整表　（単位：円）

期首における年金資産	2,789,144,657
期待運用収益	168,464,338
数理計算上の差異の当期発生額	349,871,714
事業主からの拠出額	107,282,256
退職給付の支払額	－175,294,729
制度加入者からの拠出額	16,840,899
期末における年金資産	3,256,309,135

⑶　退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付引当の調整表

（単位：円）

積立型制度の退職給付債務	2,796,558,622
年金資産	－3,256,309,135
積立型制度の未積立退職給付債務	－459,750,513
非積立制度の未積立退職給付債務	3,396,941,508
小計	2,937,190,995
未認識数理計算上の差異	1,461,117,315
未認識過去勤務費用	—
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	4,398,308,310
退職給付引当金	4,398,308,310
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	4,398,308,310